

防災学術連携体

能登半島地震の ボランティア

2024/3/25

復興学会

関西学院大学 頼政良太

研究方法

- 足湯ボランティアのつぶやき（詳細はのちほど説明）
- 現場でのアクション・リサーチ
活動期間：1月11日～ 延47日間
活動フィールド：七尾市中島町、珠洲市、輪島市
- 物資配布場所でのアンケート調査（詳細はのちほど説明）

復興学会支援金を活用し、足湯ボランティアを実施

先遣隊：2/4～7 5名

第一次隊：2/19～21 6名

第二次隊：2/26～29 7名

第三次隊：3/5～8 6名

第四次隊：3/13～16 9名

第五次隊：3/22～25 5名



足湯ボランティア とは？

足を10～15分、お湯につけて手をさする

その間は1対1で会話する

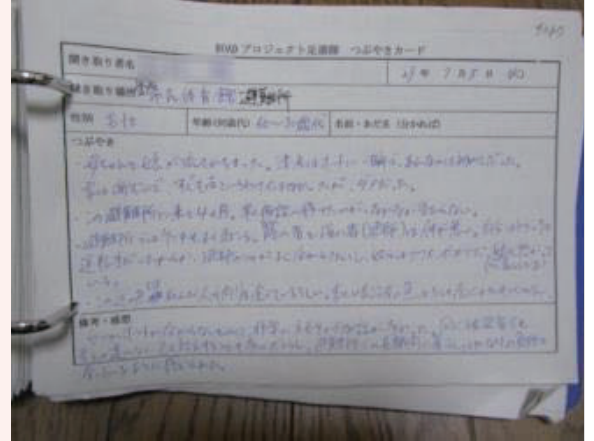
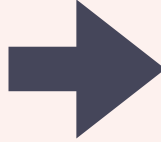
会話の中の言葉を「つぶやき」と呼んでいる。

→「つぶやき」からニーズを拾う！

→周りには言えないことも...



足湯とつぶやき



足湯のつぶやき (1)

- 避難所には知り合いがない。みんな帰った。TV見たり、何もせず過ごしている。1日が長い。家にいた時も同じ感じだったけど、やっぱり全然違う。気を遣う (1/29 60代女性)
 - 3日前に炊き出し終わって、各々買いに行ってる (コンビニ) (1/29 70代女性)
 - 料理が好き。避難所で食事を作っている。好きなことなので、楽しくやっているけど長期になりちょっとしんどい。10日ぐらい前、やっとお正月の食器を川で洗うことができた (1/30 60代女性)
 - 朝ごはん出てない。カップラーメンがあっためるご飯しかないから食べれない。やっぱり朝ごはんは食べたい (2/2 80代女性)
 - 元々、市役所で避難していたけど、トイレが使えなかったり自衛隊の拠点になっていたりして、移動しないといけなかった。周りは金沢市やホテルに移動したけど、地元を離れたくない (2/21 女性)
-

足湯のつぶやき (2)

- 月曜日に抗がん剤治療をした、当日よりも2日目、3日めがカラダがだるい。だるいカラダの時に足湯をしてもらおうと、とっても楽になるので今回も足湯をお願いした。この歳で病気になってしまっても大変だが、「生きるんだ」という気持ちでがんばっている。足湯をしてもらおうとカラダが楽になるので本当に助かる (2/27 80代女性)
 - 災害があってから毎日が何もできないまま過ぎていく。家の片付けもできていないし、毎日何もしてないしできてない。食事つくって、そうじして、毎日あつという間に過ぎていく (2/27 50代女性)
 - 子どもたちの遊び場はない。冬だから公園にも行けない。家の中で走り回っている。屋根が壊れて応急処置したけど、なおしてもらおう業者がない。瓦をやめて別の屋根にしようとしたら、200万円かかると言われたと別の人から聞いたので不安 (2/27 30代女性)
 - 他のみんなと大体仲良くできていますが、嫌な人もいます。イベントなどやればいいんじゃないでしょうか。ホラー映画が好きです。特に、みんなで映画をみたりなどはどうでしょうか (2/28 45歳女性)
-

足湯のつぶやき (3)

- 家の壁が倒れたけど、家から離れたくないです。まだ住んでいます (2/28 69歳女性)
 - 今日のご飯は硬くてアルファ米みたいだった (3/6 80代女性)
 - ご飯は問題ないけど、カレーが多い。カップ麺もしょっぱい (3/6 70代男性)
 - 左腕が震えていて。原因はわからない。保健師さんが来て病院に行ってくださいと言われたけど、行ってない (3/15 80代女性)
 - 地震直後はお風呂に入れなかった。今は入れるけど、30分かけて行って1時間30分待って、30分で帰らないといけないから、かえって疲れてしまう (3/15 90代女性)
 - この辺りは(土地の標高が)高いし、家も倒れなかったからかえって申し訳ない。気の毒。1月は1ヶ月お風呂に入らなかつた (3/15 70代女性)
-

在宅被災者向けに物資の配布を実施

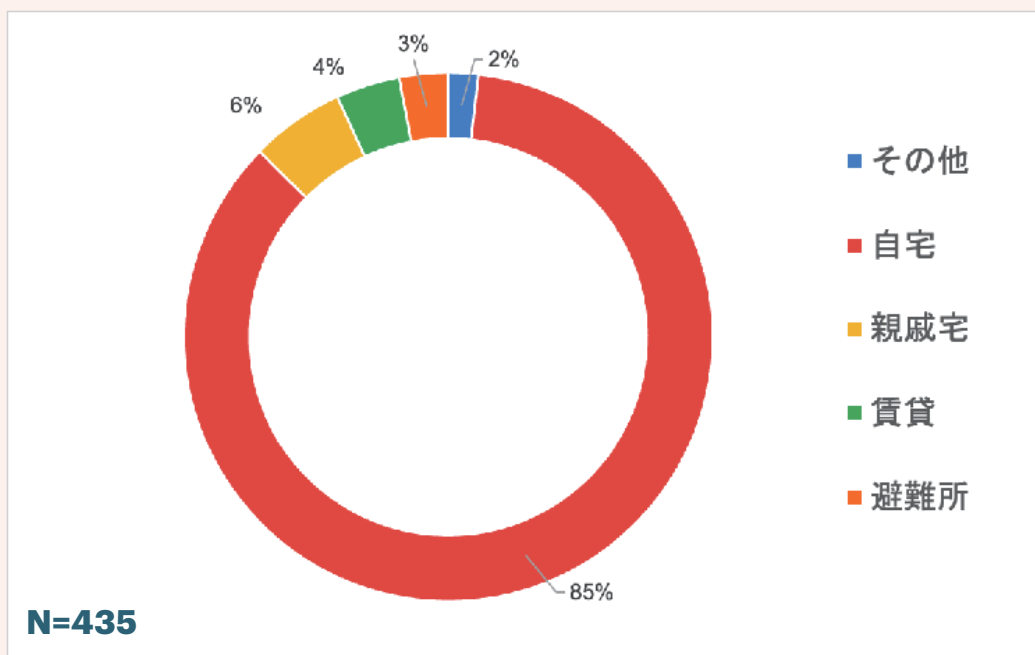


配布時にアンケートを実施

対象者	小牧集会所じんのび広場にて配布している支援物資を受け取りに来られた被災者
設問内容	<ul style="list-style-type: none">・令和6年能登半島地震での被害の程度・ライフライン等の被害や使用状況について・健康面（体力面、精神面）の状況について・その他、困っていること（自由記述）
実施方法	小牧集会所じんのび広場にて対面式で記入（一部、ウェブ入力もあり）
実施時期	2024年2月3日～3月3日
回収結果	延1014名、実人数483名

*物資配布時のアンケートであるため、複数回答している人が多数いる。今回の分析では、複数回の回答は考慮せず、実人数の回答を対象とした。

現在の居場所

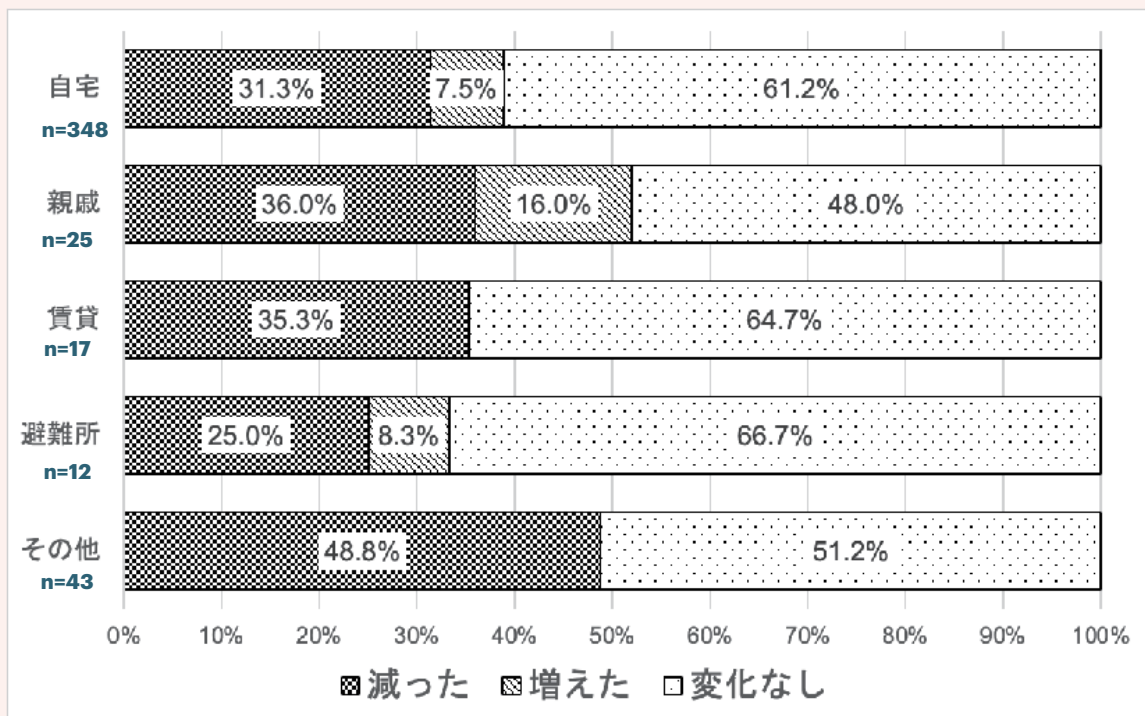


その他の例：市営住宅、障害者施設など

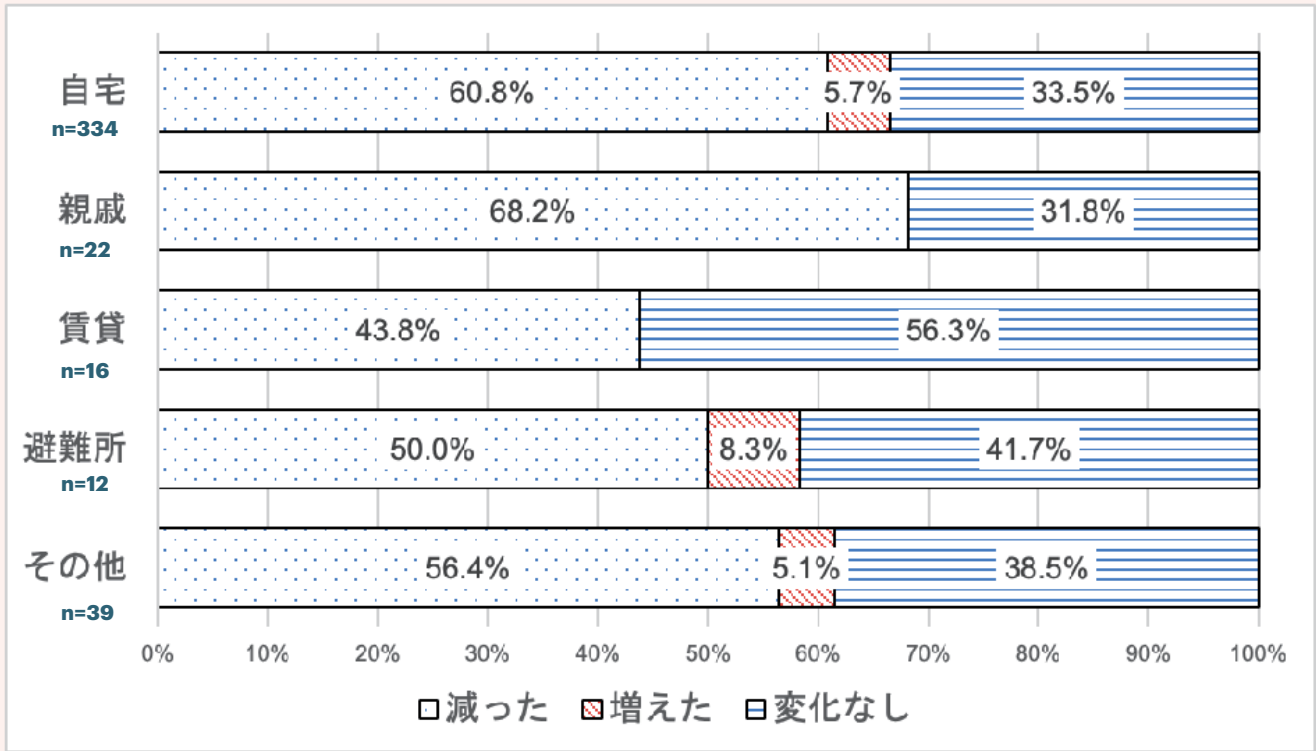
居場所	使えないもの								
	キッチン	お風呂	トイレ	冷蔵庫	電子レンジ	電話	エアコン	扇風機	車
自宅	33	144	109	12	18	15	18	3	12
372	8.9%	38.7%	29.3%	3.2%	4.8%	4.0%	4.8%	0.8%	3.2%
親類/知人	7	9	7	6	5	6	5	2	4
25	28.0%	36.0%	28.0%	24.0%	20.0%	24.0%	20.0%	8.0%	16.0%
賃貸	6	8	9	0	0	0	1	0	0
17	35.3%	47.1%	52.9%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%
避難所	5	9	7	3	3	3	2	3	1
13	38.5%	69.2%	53.8%	23.1%	23.1%	23.1%	15.4%	23.1%	7.7%
その他	9	24	19	6	5	2	5	2	1
55	16.4%	43.6%	34.5%	10.9%	9.1%	3.6%	9.1%	3.6%	1.8%

居場所	食事の内容			
	カップ麺	惣菜	自炊	その他
自宅	144	141	182	5
372	38.7%	37.9%	48.9%	1.3%
親類/知人	8	8	10	0
25	32.0%	32.0%	40.0%	0%
賃貸	10	12	4	0
17	58.8%	70.6%	23.5%	0%
避難所	6	3	4	0
13	46.2%	23.1%	30.8%	0.0%
その他	21	17	20	0
55	38.2%	30.9%	36.4%	0.0%

食欲の変化



睡眠の変化



居場所	気持ちの変化					
	気持ちが落ち込む	不安が強い	疲労がたまっている	歩行が難しくなった	日常生活に支障が生じている	その他
自宅	80	112	186	10	30	11
372	21.5%	30.1%	50.0%	2.7%	8.1%	3.0%
親類/知人	6	2	10	0	2	0
25	24.0%	8.0%	40.0%	0%	8.0%	0%
賃貸	5	6	9	1	3	0
17	29.4%	35.3%	52.9%	5.9%	17.6%	0.0%
避難所	0	6	3	1	0	0
13	0.0%	46.2%	23.1%	7.7%	0.0%	0.0%
その他	11	13	16	0	7	2
55	20.0%	23.6%	29.1%	0.0%	12.7%	3.6%

在宅避難者がどこでお風呂に入っているのか

